

### 1立方尺あたり 一律45円値上げ

LPガスの「サイサン」

LPガス事業の県内最大手「サイサン」(さいたま市大宮区)は、一般家庭用と工業用、業務用のLPガスの従量料金を、

1月の検針分から1立方尺あたり一律45円の値上げをする<sup>※</sup>と発表した。原油価格の高騰でコスト吸収できなくなったため、昨年10月の一律30円に続く再値上げとなる。

同社によると、値上げ

されるのは基本料金とは別に使用量に応じて加算される従量料金で、1立方尺あたりの料金は使用量0〜7立方尺が455円から500円に、7〜15立方尺が435円から480円に、20〜1立方尺以上が405円から450円になる。値上げ対象は、県内で一般家庭4万件を含む約10万件、関東一帯で約20万件に達するという。

## サイサン

# LPガス再値上げ

## 「輸入価格高騰で限界」

サウジアラビアから輸入しているLPガス(液化石油ガス)の価格高騰に伴い、サイサン(さいたま市大宮区、川本武彦社長)は1月の検針分から、家庭用のLPガス料金を一立方尺当たり四十五円値上げする。昨年10月の同三十円値上げに続く値上げとなり、一般家庭では月平均で約四百九十五円上がる見込み。同社は販売管理費の削減などを積極的にを行い、仕入れコスト上昇分の吸収に当たってきたが、「企業努力の限界」と再値上げに踏み切った。

(三宅芳樹)

原油価格の高騰は、成長が続いている。LP長善しい中国やインドを中心とした需要の増大、中東地域の政情不安、投機資金の原油先物市場への流入などが要因とされ、ガソリンや灯油など各種石油製品の価格

上昇が続いている。LPガスもその影響を受け、かつてないほどの大幅な値上がりとなっている。サイジアラビアの国営石油会社、サウジアラムコが元売り各社に通知しているLPガスの輸入価格は、昨年10月から今年一月まで四カ月連続で高値を更新。主に家庭用として使われるプロパンの一月の輸入価格は一ト八七〇円で、〇五年の平均輸入価格(一ト四二七

円)と比べ、倍以上に跳ね上がっている。

川本社長は「できる限りの企業努力はしてきたが、とても対応できない。遺憾ながら値上げはざるを得ない。今後価格が安定し次第、速やかに値下げしていくので、ご理解願いたい」としている。